

待望の下呂浄水場が完成

東上田保木口地内に3月20日、新「下呂浄水場」が完成しました。

下呂浄水場は旧下呂地域の下呂地区に萩原町西上田の一部を加えた区域を計画給水



完成した新「下呂浄水場」

地域とし、計画給水人口は7600人。一日の最大給水量は9300立方メートルです。現在の最先端技術であるセラミックを使用した「膜ろ過方式」を採用し、さらなる安心で安全な水道水の供給を可能にしました。工事は平成20年から4年をかけて完成。総事業費は約17億8000万円です。旧浄水場は昭和45年に供用開始。40年以上が経過し老朽化が著しく新浄水場の建設が望まれていたものです。

なお、この工事に合わせて、市内の簡易水道の集中監視化も実施しました。

【上下水道部・水道事業課】

新「東橋」完成



金山町東沓部と戸部を結ぶ馬瀬川に架かる新「東橋」が2月25日に完成しました。

老朽化に伴う掛け替えで、橋は延長約109メートル、幅8・5メートル。新たに2メートルの歩道が付きましました。平成20年度から5年をかけて完成したもので、総事業費は4億4240万円です。

【建設部・土木課】

昨夏豪雨、激甚災害に

昨年8月23日の大雨では、市内各地で土砂災害や県道のり面などが崩れる被害が多かったです。この災害が3月14日、「局地激甚災害」に指定され、災害復旧事業等に国の財政支援が受けられることになりました。

市内中学校では、中学校の学習指導要領が24年度から全面的に実施されるのに伴い、中学校の体育の授業で必修となった武道に「剣道」を履修することになりました。

中学校の体育授業 武道に「剣道」を選択

新学習指導要領では、「武道」として剣道、柔道、相撲の中から1つを選択して指導することになっており、市内の7中学校では、以前から剣道を指導してきたことや地域の支援も期待できることなどから「剣道」を選択しました。

景観推進地区に 馬瀬地域を指定

下呂市景観審議会は2月24日、馬瀬地域全域を市景観条例に基づく、「景観推進地区」に指定しました。

市内では萩原町の市道萩原本町線沿線(商店街)に次ぐ二番目の指定で、今後は馬瀬地方自然公園づくり委員会(小池永司委員長)が中心となって、馬瀬地域の景観保全と新たな創出を目指し、里森川の美しい景観づくりが進むよう行政、事業者、地元住民の協働で事業の実施が進められます。

小池委員長は「これを励みに馬瀬地域の景観づくりを磨きをかけていきたい」と話していました。

新学習指導要領では、「武道」として剣道、柔道、相撲の中から1つを選択して指導することになっており、市内の7中学校では、以前から剣道を指導してきたことや地域の支援も期待できることなどから「剣道」を選択しました。

教育指導の方針と重点

市教育委員会では、「平成24年度下呂市小・中学校教育指導の方針と重点」を策定しました。この方針と重点は、市のホームページ(下呂市教育研究所)でご覧になれます。

暴力団排除条例を制定

市では3月の市議会定例会で「下呂市暴力団排除条例」を制定し、平成24年4月1日に施行します。

この条例は、下呂市からの暴力団排除についての理念条例となるもので、今後下呂市では、本条例に基づき、暴力団排除に向けた施策に取り組んでいきます。

近年全国的に指定暴力団に関する事件が多発しており、全都道府県に加え、全国の市区町村でも暴力団排除条例が制定されつつあるなど、暴力団排除についての機運が高まっています。

条例では、市民の皆様の安全で平穏な生活を確保し、市における社会経済活

動の健全な発展に寄与するため、暴力団の排除について、基本理念や市・市民・事業者の責務などを定めました。

皆様のご理解とご協力をお願いします。



【総務部・総務課】

【建設部・建築課】

林業施策や政策を提言

下呂市森林管理委員会

下呂市森林管理委員会（都筑千尋委員長）は、森林整備の推進や林業・木材産業の振興などの政策を提言書にまとめ、2月15日、市長に提出しました。

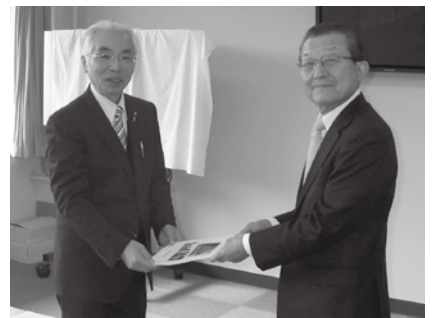
提言書は、国や県への政策提案と市への提言として16項目にまとめられています。

国や県への政策提案では、再造林の必要性や獣害対策の徹底などを要望する事を、市

への提言では、下呂市森林づくり基本条例の制定、市有林の整理統合と活用、森林・林業への理解と促進、多様な利用に向けた体制整備などを求めています。

提言書の内容は、下呂市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

下呂市森林管理委員会は、森林資源が有効に活用され、森林の多面的な機能が発揮さ



提言書を手渡す都筑委員長（右）

れるよう森林管理、整備および林業・木材産業振興に関する基本方針の提言や情報の収集、発信などを行っています。

【農林部・林務課】

下呂市森林管理委員会委員を募集

「下呂市森林管理委員会」は、森林を将来にわたって守り育て、次世代に引き継いでいくため、多くの市民の方々の意見・提案を反映させながら、長期的な視点で森林づくりの提言や森林等に関する情報収集・発信を行っています。同委員会の委員改選に伴い、新たな委員を募集します。

1. 募集人員 / 2名程度

2. 募集資格 / ①～③のすべての要件を満たす方

- ①市内に居住または通勤している方
- ②年齢満20歳以上の方(平成24年4月1日現在)
- ③国、地方公共団体の議員あるいは常勤の公務員でない方

3. 委員の役割 /

- (1) 市の森林整備の推進、林業・木材産業の振興、森林の活用等を図り、健全で豊かな下呂市の森林づくりを進めるための提言や森林施策についての検討会議等への参加。
- (2) 市民の皆さんへの森林情報の発信、市民の皆さんからの森林情報の収集。

4. 任期 / 3年間(平成27年3月まで)

5. 申込 /

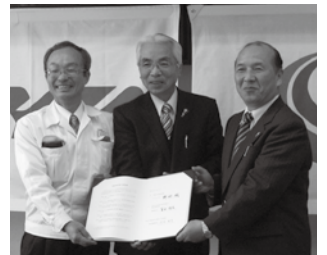
- (1) 申込用紙を電話で請求してください。市ホームページからもダウンロード可能です。
- (2) 募集用紙に必要事項を記入のうえ、郵便またはメールで申し込みしてください。

6. 応募締切 / 4月27日(金)

7. 問合せ先 / 下呂市役所農林部林務課内

下呂市森林管理委員会事務局
電話 52-2000 FAX 52-2807
メール rinmu@city.gero.lg.jp

企業立地協定を締結 KYB金山(株)と下呂市



市では金山町にあるKYB金山株式会社と企業立地協定を締結しました。同社の工場移転新築と跡地への工場新設計画に関し、協力して推進を図るためのもので、地元雇用や地域発展への寄与などを定めています。写真は協定書に署名した有田恒文社長、下呂市長、河内宏彦飛騨振興局長(左から)。

【観光商工部・商工課】

4月観光キャンペーン

お近くまでお越しの際は、お立ち寄りください。

▼4月20～22日、東京ミッドタウン

〈第10回 MID MARKET〉

(東京都六本木) 市内事業者による特産品の販売を行います。

短信

★固定資産評価
審査委員会委員
中島晋さん(金山町金山)が3月31日付で辞任され、後任に川尻実さん(61歳・金山町金山)が4月1日付で就任されます。

【総務部・契約管財課】

★指定管理者の指定

濁河温泉高原スポーツレクリエーションセンター(旧御嶽少年自然の家)と御嶽パノラマグラウンドの指定管理者にNPO法人高所トレニング環境システム研究所(理事長 小林寛道)が指定されました。また、あさぎりサニラウンドとかなやまサニラウンドの指定管理者には、引き続き社会福祉法人下呂福祉会(理事長・曾我博男)が指定されました。期間はいずれも平成24年4月から5年間です。

★下呂検定2012

2月18日に行われた「下呂検定」には県内外から169人が受験。上級・初級・キッズ合わせて98人が合格しました。合格者には認定書などが贈られました。

【観光商工部・観光課】

★市職員の異動

退職(2月29日付)
二村満夫(会計課理事)

【総務部・人事課】